

国土交通省
上下水道
審議官賞

地域循環資源を活用したバーク堆肥と下水汚泥 コンポストで法面緑化基盤材の全国展開を実現

富士見工業株式会社

肥料製造

下水汚泥

畜ふん

その他

地域循環資源のみで製造する法面緑化基盤材と緑化工事向け下水汚泥コンポスト肥料を全国で販売

団体紹介

団体名：富士見工業株式会社

所在地：静岡県静岡市

団体の主な活動：① 堆肥の製造販売 ② 緑化資材の製造販売 ③ 不動産事業

ウェブサイト：<https://fujimi-group.co.jp/>

取組概要

■ 背景・目的

地域循環資源のみで製造する法面緑化基盤材と緑化工事向け下水汚泥コンポスト肥料を全国で販売することにより、海外原料に依存しがちな建設資材の安定確保、環境保全に貢献している。

■ 取組内容・ポイント・効果

原料とするバイオマス

木材副産物、伐採廃木、家畜ふん、食品残渣、食品工業汚泥、下水汚泥

国内資源肥料の年間製造量 / 全肥料の年間製造量（製造率%）

42,553t / 42,553t（100%）

（当社製造の国内資源肥料の製造量の内、本取組に係る肥料の製造量の割合）

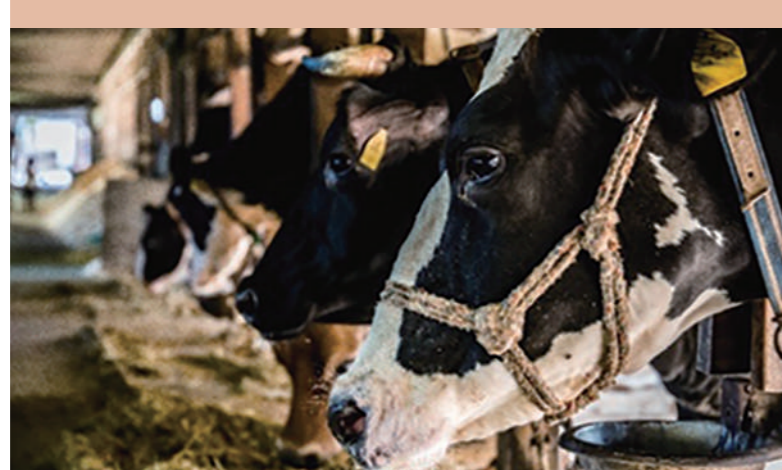
全国22か所の肥料工場（協力工場）で、樹皮・家畜ふん・下水汚泥等の地域循環資源を主原料とした法面緑化基盤材をOEM製造している。元来、法面緑化基盤材を使用する緑化工事には化学肥料を添加して吹付することが標準的な工事設計だった。そこで、緑化工事で使用される化学肥料を下水汚泥コンポストに代替できることを検証した上で、顧客に提案し、顧客が工事で使用する肥料コストの削減と肥料資材の安定確保に繋げた。具体的には以下、5つの点の工夫・訴求を行っている。

- ① バーク堆肥と下水汚泥コンポストを混合した法面緑化基盤材を、各都道府県の「リサイクル認定品制度」へ申請することで、公共工事に積極的に採用される仕組みを構築
- ② 全国22か所の協力工場を通じた販売網を確保することで、法面基盤材の流通コストを抑制し、経済性を確保
- ③ 主要原料は産業廃棄物由来の国内循環資源を使用しているため、為替や国際市況による価格影響は少なく、また国内原料在庫の不安もない点を施工業者様へPR
- ④ 全国バーク堆肥工業会や全国食品・畜産有機資源リサイクル協会の活動を通じて、全国的な地域循環資源の需給状況と生産状況を把握することによって、法面緑化基盤材を全国各地に安定的に供給
- ⑤ NPO法人日本エコサイクル土壌協会の活動を通じて、建設技術審査証明事業の審査証明書を取得した下水汚泥コンポストを全国各地に安定的に供給

原料（木材副産物）



原料（家畜ふん）



原料（下水汚泥肥料）



製品（バーク堆肥）



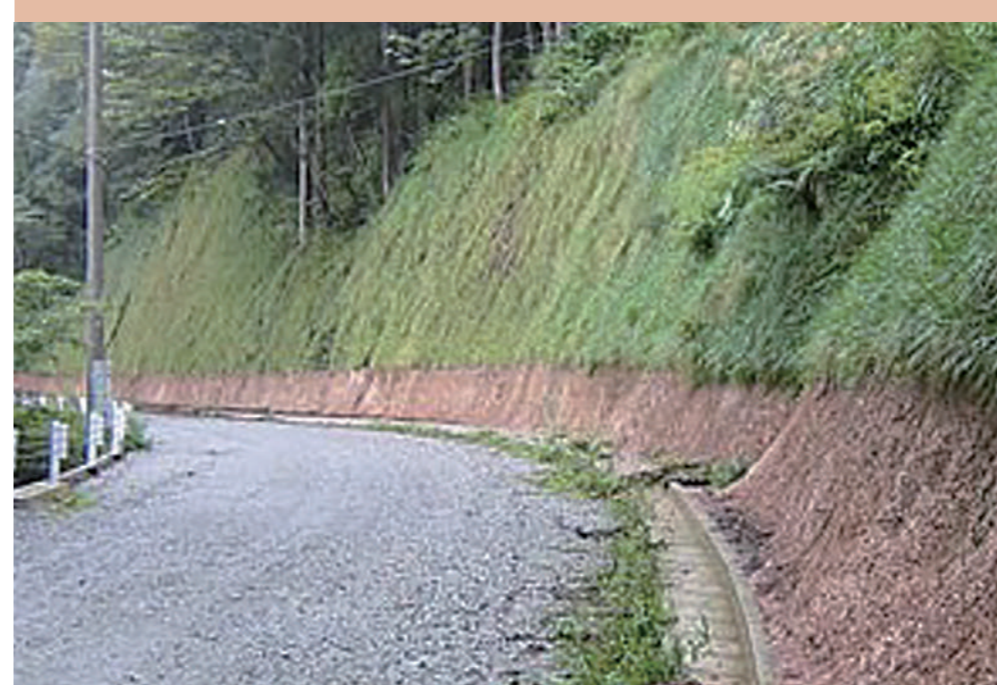
製品（緑化基盤材）



施工作業風景



施工現場（法面）



施工現場（法面）



施工現場（公園）

